

令和４年第６回鹿角市議会定例会 一般質問

□質問順位及び 質問所要時間

9月13日（火）午前10時～	1	金澤大輔	議員	（30分）
	2	倉岡誠	議員	（30分）
	3	戸田芳孝	議員	（45分）
	4	笹本真司	議員	（30分）
	5	湯瀬弘充	議員	（30分）
9月14日（水）午前10時～	6	黒澤一夫	議員	（45分）
	7	丸岡孝文	議員	（45分）
	8	児玉悦朗	議員	（45分）

□質問時間割当表

10:00	10:30	11:00	11:10	11:55	13:00	13:30	14:00
9月13日 （火）	金澤大輔 （30分）	倉岡 誠 （30分）	休憩 10分間	戸田芳孝 （45分）	休 憩	笹本真司 （30分）	湯瀬弘充 （30分）

10:00	10:45	10:55	11:40	13:00	13:45
9月14日 （水）	黒澤一夫 （45分）	休憩 10分間	丸岡孝文 （45分）	休 憩	児玉悦朗 （45分）

令和４年第６回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	1	質問者	金澤 大輔	質問所要時間	30 分	No.1
質 問 事 項				質 問 要 旨		
1 災害対策について				① 先月の大雨による被害が山、河川、道路、家屋、農作物に至るまで被害が甚大だ。これまで 10 年に一度と言われた災害も、頻繁に起こりうるものと認識し対処していかなければならないと考える。長い年月をかけてでも、被災への対処から被災の予防にシフトさせ、災害に強い町として計画整備していく必要があると思うのだが、市の考えを伺う。 ② 今回被災された方々や、立地的問題から今後の災害を心配している方々の中にも、転居を視野に入れざるを得ないと考えている方はいると思うし、実際にそういった声も聞く。そういった方に市として何ができるのか。費用負担を少なくするため、空き家の活用や、市営住宅への斡旋などに取り組みえないものか。まずは、ハザードマップを基にアンケートなどを実施し需要等を把握すべきと思うが、市の考えを伺う。 ③ 今回被災した住家の多くは浸水などが多く、水害には泥被害が付き物で、重く広範囲にわたる泥の洗浄は重労働で長時間の作業が必要である。作業現場での泥洗浄における高圧洗浄機の導入は、作業の効率化において非常に有効だと感じた。災害は突発的で想定外なことなので、常備までは考えられないと思う。そこで、市で貸出し用の高圧洗浄機を何台か配備できないものか。敷地の広さによっては地域の消防団の放水が有効かつ必要と感じたところもあるが、一般家庭であれば高圧洗浄機で対応できると思う。災害時の貸出し用として市が高圧洗浄機を備えることで被災者は自ら使用できる。また、ボランティア隊にも活用してもらうことも想定すると、復旧作業の省力化と迅速化が図られる。市で貸出し用高圧洗浄機の配備を検討する考えはないか伺う。		
2 選挙対策について				① 7 月に投開票が行われた参院選では、投票所とポスター掲示板が大幅に削減されたが、そこに至った経緯、背景はどのようなものであったか伺う。 ② 市民への周知が足りないとか、実行に移す前に市民に意見を求めるべきだった等の声があったようだが、周知はどのようにされたのか伺う。		

令和４年第６回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	1	質問者	金澤 大輔	質問所要時間	30 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
3		企業誘致について	③ 投票所と掲示板が削減されたことが要因と考えられる投開票時のトラブルなどがあったか伺う。 ④ 投票所の大幅削減が、今回の参院選で本市の投票率が県内最低の 49.12%となった要因であるという見解もあるようだが、それについての考えを伺う。 ⑤ 今回の経緯を踏まえて、今後どのように対応していくのか。他市で実施している移動投票所や電話予約で運行ルートを決めるデマンドタクシー投票所などは考えられないか伺う。 ⑥ 若者の政治離れが指摘されている中、選挙権が 18 歳へ引下げとなった。投票率向上のためにも、政治を身近に考えてもらえるような啓発が重要と考えるが、今後どのような取り組みを行うのか伺う。		
			① 株式会社アナザー・ワークスと連携協定を結び、同社を介しての複業人材をアドバイザーとして戦略的な企業誘致を進めていくとのことだが、これまでの取組みの見直しという捉え方なのか、それとも選択肢の追加なのか。新たに取り組む具体的な事業内容と併せて、本市経済の様々な課題解決にどのような波及効果を期待しているのか考えを伺う。		

令和4年第6回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	2	質問者	倉岡 誠	質問所要時間	30 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
1	8 月豪雨災害について			① 8 月 9 日以降停滞し降り続いた経験のない大雨に襲われ、河川の氾濫、住宅地の侵食、床上・床下浸水の住宅被害、道路や公共土木施設・農地など甚大な被害が出た。豪雨災害に際し迅速に対応され、市民の安全・インフラを確保していることに敬意を表したい。今、判明している箇所以外に新たに被害が分かったのはどのような被害か。また、復旧にはとてつもない時間を要するものとするが、これまでの進捗状況について伺う。 ② 避難指示に関連して、避難時、要支援者等に対する手立てや要綱があるのか。例えば車椅子で避難した場合、避難所での対応策・有資格者の配置の有無等があるのか伺う。 ③ 河川の実態は深刻な状況であり、不動川などはその最たるもので、対策は緊急を要すると思う。この川は近年だけでなく、通年大雨が降れば近隣住民は常に脅かされているが、上流よりも下流の河川幅が狭い状態を見過ごしていたのか伺う。また、鹿角市全体で多くの復旧を急がれるものと思うが、尾去沢の上新田・中新田地区を流れる新田沢川・その支流水沢川・その支流のホノスミ沢について、農地の被害が大きいことから関係機関と協議の上早急に対応すべきと考えるが、対応について伺う。この地域も河川で捌ききれない水量で氾濫し、一時孤立した事実がある。一般的な河川であれば浚渫することで改善されるが、住宅地周辺は底が岩盤であり浚渫が難しいと考える。河川の縁石・護岸を嵩上げするしかないと思うがいかがか。	
2	かづのパワーについて			① かづのパワーは、電力の自給率が 300%を超える本市の利点を生かし、自治体が電力を買い上げて売るというエネルギーの地産地消のまちづくりを目指してスタートした。 電源については、業者の協力をいただき供給先を市役所や公共施設などを中心に施設の省電力化を目指したが、電力供給の価格変動に対応しきれず課題解決策を探らなければならない現状にある。 そこで、私が発足当時から提唱している自前の電源を持たなければと考える。自前の電源を持つことで基盤が安定し、自助努力で生き抜くことも可能になる。経済産業省・資源エネルギー庁の水力発電の導入加速化補助金の活用を図り、水力発電所を建設する意向はないか伺う。ただし、この制度の受付けは間もなく終了するため急がなければならない。 また、環境省には、本市のようにカーボンニュートラルの実現に向けた取組みを推進するため高額な補助金もあると伺っている。水力発電に限らずそれらの補助金の活用も有効的と思うがいかがか。	

令和４年第６回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	3	質問者	戸田 芳孝	質問所要時間	45 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
1 自治体D X（デジタルトランスフォーメーション）の推進について			① 行政手続きオンライン化の進捗状況とオンライン申請（利用率）について伺う。		
(1) 行政手続きのデジタル化について			① 現時点での交付状況と取組みについて伺う。		
(2) マイナンバーカードの普及促進について			① 自治体D Xを推進するに当たり、経済的な理由、年齢、障がいなどの有無に関わらず、全員にデジタル化の恩恵を行き渡らせていく必要がある。デジタルデバイド（情報格差）を生まない、本市の取組みについて伺う。		
(3) デジタルデバイド（情報格差）の解消について					
2 カーボンニュートラルに向けた取組みについて			① ゼロ・カーボンシティ宣言を表明している自治体のほとんどが 2050 年の実現を目指している中で、本市だけが 2030 年とした理由、また難題も多く、達成は容易でないと考えるが、その実現の可能性について伺う。		
(1) 「鹿角市 2030 ゼロ・カーボンシティ宣言」について			② 2030 年ゼロ・カーボンシティ実現に向け、表明以降どのような取組みをしてきたのか、また、脱炭素に移行していくための計画について伺う。		
			③ ゼロ・カーボンシティ実現のためには、市民や事業者の理解や協力が大前提にあることを踏まえ、下記の 3 点について伺う。 (ア) 脱炭素に向けた、意識調査は行われたのか (イ) 2030 年実現を目指すことについて、説明会は実施されたのか (ウ) トラブルを回避し、計画をスムーズに進めるためのコンセンサスは取られたのか		

令和4年第6回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	3	質問者	戸田 芳孝	質問所要時間	45 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
(2) 「かづのパワー」との連携について			① 会社の経営状況と将来の見通しについて伺う。 ② 再生可能エネルギー調達に向けた取組み状況と、その見通しについて伺う。 ③ 再生可能エネルギーの供給について、現時点では市内の公共施設へ開始しているが、今後、一般家庭や事業所への普及を段階的にどのように進めて行くのか、2030 年実現を目指すに当たり、向こう 8 年間の供給計画について伺う。		
3 コロナ禍における子供への影響について					
(1) 学習への影響について			① コロナ禍により、児童・生徒の学力が低下していないか。また、新型コロナウイルスに感染したり濃厚接触者になった場合、一定期間は学校を休むことになるが、学習の遅れをどうフォローしているのか伺う。		
(2) ストレスによるいじめや不登校について			① 長引くコロナ感染症の影響で、心理的ストレスを抱えて「いじめ」を行ったり、「いじめ」が原因で長期欠席や不登校に至るケースも考えられるが、本市の現状について伺う。		
(3) 家庭経済への影響による貧困と虐待について			① コロナ禍で、厳しい生活を強いられている子供の現状と、生活の厳しさから暴力を振るう虐待の実態について伺う。		

令和４年第６回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	4	質問者	笹本 真司	質問所要時間	30 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
1		官製談合事件への対応及び入札不正防止策について	① 建設業界における入札妨害等の再発防止に向けた具体的な取り組み状況について市の認識を伺う。また、業者のガバナンス体制を評価に追加するなど、入札制度を通したコンプライアンス遵守の意識づけも必要と考えるがこれについてはどのような状況・認識なのか伺う。 ② 契約書における業者の賠償金の設定が、３件の官製談合事件のまさにその期間中に請負代金額の１割から２割に増額された理由を伺う。また、３割としている自治体もあるが、今後も２割を維持するのか伺う。 ③ 建設工事における下請負については、建設業法第 22 条において一括下請負を禁止する等法令により厳しく管理されているほか、国土交通省からも下請負に関する様々な通達がなされているが、鹿角市の外壁工事では県から指示処分があった。鹿角市の一括下請負に対するチェック体制はどのようなになっているのか伺う。 ④ 同じ入札に参加した業者が、落札後に落札業者の下請けになることは、一括下請負または談合の可能性があるため、基本的に禁じられていると理解している。これに関しても厳しく取り扱うべきではないかと考えるが、鹿角市のこれまでの対応状況と合わせて伺う。		
			2 今年の参議院議員選挙から適用された、選挙区再編と大幅な投票方法変更について (1) 制度変更された内容・影響について ① 今年度から 46 投票区が 6 投票区に再編の上、共通投票所とされたが、今年の参議院議員選挙における投票率は県内自治体の最低の 49.12%であった。制度変更に伴う影響についてどのような検証を行ったのか、また今後どう改善していくのか伺う。		

令和4年第6回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	4	質問者	笹本 真司	質問所要時間	30 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
			② 投票所が遠くなることで、投票を諦めたという声を数多く聞いた。投票所を減らす場合、選挙管理委員会は「有権者の投票の権利を保障するための配慮」をする責任があると考えている。これについてどのように考え、どのような対策を行い、投票結果を受けて今後どう対応するのか伺う。 ③ 共通投票所導入による利便性向上を謳っているが、逆に期日前投票の期間は大幅に短くなっている。総合的に見て利便性は低下したのではないかと考える。次回から原則公示日翌日から全ての会場で期日前投票を実施すべきと考えるが、認識を伺う。		
(2) 制度変更の周知活動について			① 北秋田市では投票所を 62 か所から 38 か所に再編した際、市内 4 地区で説明会が開かれたが、鹿角市では 5 月 13 日開催の自治会長会議でも説明はなかった。ほかにも回覧板による周知、明るい選挙推進委員への協力依頼など、大幅な再編に伴い周知としてできることはあったと思うが、実施されなかった理由を伺う。		
(3) 具体的な検証について			① 今回の選挙の実施方法について、広く有権者に対してアンケートを実施して、課題等を数値化・公開し洗い出すべきと考えるが認識を伺う。		
3 市の公共交通の利便性向上について			① 来年 4 月から、新しく小児科・呼吸器内科・耳鼻科のクリニックがオープン予定である。また、近くには既に眼科クリニックもある。たんぼこまち号の大きな需要の一つが、医療機関受診であることを考えると、ルートを柴内から不動川沿いに走って国道に合流後、南下してかづの厚生病院に向かうように修正し、クリニック付近にバス停を増設することで、所用時間をあまり増やさず、既存のバス停も変更せず、自家用車のない方などに対し、医療機関への利便性向上を図れると考えるが、市の考えを伺う。		

令和４年第６回鹿角市議会定例会一般質問

No.3

順位	4	質問者	笹本 真司	質問所要時間	30 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
4	鹿角市の「共働」について			① 人口減少社会の中、鹿角市は人々の「共働」が大切であると謳っており、HPにも「市民の皆さんのところをひとつにし、よりよい地域社会をつくっていきましょう」とある。ストーンサークルの世界遺産記念や、市制 50 周年記念ポロシャツは職員や議員に販売・購入されているが、共に祝うべき市民には一般販売されておらず、心理的な乖離を残念に思う声がある。関心ある市民が日常的に着用することで、一体感の醸成や市民一人一人が外出先や市内を歩く観光客に対して鹿角市のアピールができ、市民による当市の広告宣伝効果も期待できる。この際、市民に記念ポロシャツを一般販売してはと考えるが、認識を伺う。また、行政の施策にこのような観点からの、市民との一体感の醸成の仕掛けを加えるべきと考えるが、市の考えを伺う。	
5	3 歳以上の保育園児への主食提供について			① 鹿角市の公立教育・福祉施設で児童に提供される給食は、中学生までの間で唯一 3 歳以上の保育園児は完全給食でなく主食持参となっている。児童の食育や衛生面、また様々な家庭環境への配慮を考えると、有償・無償はともかく、3 歳以上の園児にも完全給食の提供を検討すべきと考えるが市の考えを伺う。また、保育園に関しては、日常的な職員と保護者のやりとりだけでなく、定期的なアンケート調査という形で保護者の声を吸い上げ、現場の感覚的なものだけでなく、数字に落とし込んでよりよい運営を議論できるような仕組みを取り入れるべきと考えるが市の考えを伺う。	

令和４年第６回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	5	質問者	湯瀬 弘充	質問所要時間	30 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
1	災害対策について				
	(1) 中小河川の堆積土砂対策について			① 先月の豪雨で中小規模の河川でも氾濫があり、近隣の住宅に浸水するなどの被害が多数起きた。以前から土砂が堆積し、アシや大きな木までもが河川内に生い茂っている状態が見られる。このような堆積物を撤去することで、水位も下がり流れがスムーズになり、災害が起こりにくいと考えるが、今後の河川の維持管理をどのように進めていくか伺う。	
	(2) 大湯地区における洪水時の避難所について			① 今回の豪雨で、大湯川では急速に水位が増し、架かる橋に水しぶきが上がるほどまでになった。避難所に移動するには、この橋を渡らなければたどり着けない。住民からは「橋を渡るのが怖い」、「危険な状態の橋を渡るより家にいた方がいい」などの声を聞いている。大湯地区においては大半の人が橋を渡らなければ避難できない。また、外水氾濫により国道 103 号が冠水した場合は、横断が不可能になることも考えられる。大湯温泉総合振興プラザは浸水想定範囲内になっているが、高台になっているため、浸水の危険性は少ないと考える。洪水時の避難所にできないか考えを伺う。	
	(3) 災害対策の強化について			① 家屋への浸水、河川の氾濫、土砂崩れ、停電や断水など想定を超える範囲で災害は起こる。今回の災害を受け、今後の災害への対策と強化をどのようにしていく予定か、考えを伺う。	
2	新型コロナウイルス対策について				
	(1) 5～11 歳に対するワクチン接種について			① 5～11 歳に対する新型コロナウイルスワクチン接種が「接種勧奨」から「保護者の努力義務」と変更になったが、3 回目以降や、新たに 5 歳になる方への接種券も以前と同様の申請制になるのか伺う。	
	(2) ワクチンの効果について			① 大館保健所管内、または秋田県において、「ワクチン接種歴別の P C R 検査陽性者数」のようなワクチンの効果の確認につながるデータはあるか伺う。	

令和４年第６回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	5	質問者	湯瀬 弘充	質問所要時間	30 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
3	(3) 保育施設でのマスクについて		① 感染拡大が高止まりしている中、強制ではないものの保育施設でも子供達へのマスク着用を推奨している。行動も活発で、頻繁にマスクを取り替えなければしっかりとした感染対策にならないことから、1日に3～5枚使用する子もいる。いつまで続くか分からない状況で、各家庭への負担を少しでも減らすべく、保育施設へ普段使用するための子供用マスクの支援はできないものか伺う。		
	3 自殺問題について				
	(1) 自殺者の推移と傾向について		① コロナ禍が続く中、全国で増加傾向にあり、若い世代の数も増えてきている。鹿角管内ではコロナ禍以前と比べてどのように数が推移しているか、また、その傾向も併せて伺う。		
4	(2) 対策の強化について		① 今後も増加する可能性があるため、対策の強化を図るべきと考える。現在の対策と今後の取組みについて考えを伺う。		
	4 子育て世代への支援について				
5	(1) 所得制限の撤廃について		① 8月1日に施行された福祉医療制度の拡充にて、所得制限が撤廃されたことについてはとても高く評価されている。所得制限を撤廃することにより、所得向上やそれをPRすることで子育て世代の新規転入者の増加も考えられる。今後、このような所得制限を撤廃できる子育て支援などはあるか、また、予定はあるか併せて伺う。		
	5 産婦人科について				
	(1) 産婦人科の分娩機能再開について		① 以前より伺っている市長の公約にある産婦人科の分娩機能再開について、現在どのような状況か、進捗状況を伺う。		

令和４年第６回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	6	質問者	黒澤 一夫	質問所要時間	45 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
1	人口減少への対応と増加への取組みについて		① 本市の総人口は昭和 30 年に 6 万 475 人で、今日まで減少を続けている。年少人口と生産年齢人口の減少が著しい状況であるが、市のこれまでの取組みについて伺う。 ② 子育て支援をさらに充実させ、他市、他地域から本市へ移住する方が増えるよう取り組んでいただきたいが、このことについて伺う。 ③ 高校卒業者、大学卒業者の地元定着への取組みを伺う。		
2	企業誘致の取組みと働く場の確保対策について		① これまでの取組みについて伺う。 ② 本市出身の大学生、専門学校生へのＵターンの勧めは良好に進んでいるか伺う。 ③ 地元企業、工場への支援は万全に行われているか伺う。		
3	花輪稲村橋から八幡平川部橋間の健康ロードの整備と安全利用について		① 路面が大雨や米代川の増水で剥がれており危険である。補修の計画について伺う。 ② 八幡平大里から川部間の路面で、ぬめりがありウォーキングの際危険である。どのような保全管理をしているのか伺う。 ③ 雑草、アカシアの枝払いは年間どのくらい行うものか伺う。		
4	選挙における投票所の場所と投票率の向上対策について		① 7 月 10 日に行われた参議院選挙について、これまで 46 か所で投票できたが 6 か所に投票所を減らした。投票率も低下したが、どのように捉えているか伺う。		

令和４年第６回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	6	質問者	黒澤 一夫	質問所要時間	45 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
5	8 月集中豪雨による被災者への復旧支援について			① 相談窓口対応を充実、被災者の負担軽減や復旧支援を強めるべきと考えるが、どのように対応しているか伺う。 ② J R 花輪線の早期開通に向けた取組みについて伺う。 ③ 西山農免道路は大雨のため通行止めとなるが、年次計画で改良工事を進めてはいかがか。 ④ 三ツ矢沢中新田の新田沢川沿いで、農道の崩れ、水田への岩石の流入、川底の砂利が上がっており危険である。また、水沢川から別所川に架かる県道の新田橋の橋脚の一部に崩れの危険が見られる。早急に対応すべきと考えるが、このことについて伺う。	
6	農林業の振興と生産者販売グループの育成支援について			① 鹿角短角牛の増頭、増産は進んでいるか。また、現在放牧頭数は幾らとなっているか伺う。 ② 鹿角の名産「北限の桃」の生産面積、計画的な改植、増反は進んでいるか伺う。 ③ 直売所やそのグループに対して、支援、相談の強化を図っているか伺う。 ④ 民有林の伐採跡地への再造林が進められている。本市の本年度の計画（面積、所有者）について伺う。 ⑤ 市の植樹祭は、大湯ストーンサークルではなく、他の山地や林地で行ってはいかがか。	

令和4年第6回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

No.1					
順位	7	質問者	丸岡 孝文	質問所要時間	45 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
1 国葬への市としての対応について				① 政府は 9 月 27 日に執り行われる安倍元首相の国葬について、地方自治体・教育委員会には弔意を求めないとしているが、佐竹知事は国葬への出席と行政機関での弔旗の掲揚はあり得ると発言をされている。本市や教育委員会ではどのような対応をされるのか伺う。	
2 副市長の選任について				① 市民は、副市長の選任について非常に関心を持ち続けている。それは多くの市民の市長への期待が続いている表れと言える。コロナの感染予防対策、官製談合への対応、自然災害への対応などの課題が山積する中、市民からは副市長不在の市政運営に心配や不安の声が続いている。副市長の選任について今後どのようにされるのか伺う。	
3 わいわいランチ敬老月間について				① 敬老会は、長年にわたり地域社会の進展に尽くされてきた高齢者を敬愛し、その長寿を祝福することを目的として開催されてきたが、参加者の減少が続き、集合による開催は取りやめとなった。代わりの感謝を表すお祝いを 9 月と 10 月に自治会で行う場合、参加者への弁当代の支給を行っているが、事業は社会福祉協議会に委託され「わいわいランチ敬老月間」と称し自治会単位で受け付けているが、市民から「非自治会員には案内さえもない」「会食を条件では集まりたくない人にはお祝いはない」「対象なのに差別され不公平で腹立たしい」「これが税金を納めている市民への市としての敬意の表し方なのか」「社協のわいわいランチ事業と混同してしまい紛らわしい」等の指摘を受けた。敬老事業であるならば、対象者全員が不満を持たない事業にすべきと考える。この方法が本来の「敬老会」の目的に沿っているやり方なのか疑問であり、見直すべきと考えるがいかがか。	
4 物価高騰への対策について				① 今、物価の高騰は食料品から燃料までに及び、しかも、10 月には一度値上げされた物の再値上げなど、食品では 2 万品目を超えるものが既に値上げされ、上げ率では平均 14%と帝国データバンクが報じた。今後も値上げは続くと予想され、市民の消費意欲は落ち込むと予想される。市では 7 月にプレミアム付商品券を発行し、市長の行政報告によれば 1 億 6,700 万円が市中に流通したとのことだが、これにより恩恵を受けた市民は極少数であった。コロナの流行による消費の落ち込みに対し小売や小規模事業者等「売る側」への経済支援はここ数年繰り返し行っている反面、消費者「買う側」への支援があったとは言えない。	

令和4年第6回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	7	質問者	丸岡 孝文	質問所要時間	45 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
5 カーボンニュートラルへの取組みについて (1) 実現に向けての取組みについて (2) 目標達成には、施策の適用拡大が必要ではないか			県内では既に、物価の高騰による市民の経済的負担の軽減と買い控えによる消費の低迷への対策を目的に、所得制限など条件なしの経済援助策に踏み切る自治体が続いている。横手市、北秋田市等である。また、横手市では議会がプレミアム付商品券では全市民が等しく恩恵を受けられない不公平な事業だとして予算案を否決、その後、抽選無しで希望者全てに配布できるように変えた提案が再提出され事業が行われているほか、併せて「横手にぎわい商品券」という市民1人当たり5,000円の商品券を配布している。北秋田市でも同様の市民1人当たり5,000円の商品券の配布である。全国的にも自治体による、所得制限や使用範囲の限定などの条件のない地区内限定の物価高騰策は広がっている。鹿角市でも同様の経済支援策を早急に行うべきと考えるが、その考えがあるのか。行わない場合はその理由について伺う。 ① 市が宣言した2030年までのカーボンニュートラル実現には、その意義を広く市民に理解いただき官民挙げての取組みが重要で不可欠と思う。短期間での目標達成へ担当である産業部では市民向け普及啓発講習会を開始し企業、個人への協力を働き掛けているが、市民の生活環境を受け持つ市民部や子供・児童への生活環境、学習の窓口である健康福祉部や教育委員会等庁内の他部門において、市民向けにどのような事業を実施または計画をされているのか伺う。 ① 市の平成29年のCO₂総排出量を基にした試算では、市内で使用する企業も家庭も電気の全てを再エネ由来に変更すれば35%削減が見込めるとされている。言い換えればCO₂の排出量の35%は電力の消費によるものだということである。また、今年2月に出された新エネルギービジョンで示されている表では、平成29年度エネルギー消費量及びCO₂排出量の推計で、家庭部門でのCO₂排出量は市全体の30%になり、それは産業部門、運輸部門より多くなっている。これはカーボンニュートラル実現に不可欠なCO₂排出量削減において、家庭でのCO₂削減無しでは目標の達成は難しいと受け取れる。市が行っている「鹿角市省エネ設備等更新支援補助金」「自家消費型太陽光発電設備・蓄電設備導入支援補助金」の支援事業では何%の削減を見込んでいて、現在の補助金申込みは何社あり、どのような取組みへの支援なのか、また、この施策から家庭用の設備を除外している理由、家庭用にも適用範囲を広めるべきと思うが、その考えがあるのか伺う。		

令和４年第６回鹿角市議会定例会一般質問

No.3

順位	7	質問者	丸岡 孝文	質問所要時間	45 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
6	(3) 卒F I T宅への取組みについて		① 資源エネルギー庁の資料では、2019 年から 2023 年までに鹿角市でF I T制度の終了、卒F I Tする太陽光設備は 100 以上 500 以内と発表されている。例えば設備の出力を 5 キロワットとして 500～2500 キロワットの電量が見込めることになる。これは八幡平永田の水力発電所の出力に近い、もしくはそれ以上の電気量が東北電力と結んでいる売買契約を見直しするということである。太陽光発電を設置している方の環境意識は高く、自宅で作った電気を自宅で消費する自産自消への関心も高いと想像できる。再エネ電気利用によりC O2 排出を激減させ、カーボンニュートラル達成へ大きな後押しとなる。太陽光発電を設置している家庭が蓄電池設置を行う場合、支援を行うべきと考えるが市の考えを伺う。		
	参議院議員通常選挙について (1) 投票所の集約と結果について		① 市長にも今回の変更について市民からの不満と不安の声が届いていたと思うが、このような大幅な投票所集約や新しい試みなど行うのであれば、公聴会や地区説明会など行い、市民の声を踏まえてから変更をすべきであり、なぜ行わなかったのか。議会への説明や報道を見ると、投票率は低下する前提で変更をされたとのことだが、判断は正しかったと思われるのか。投票率が最低となったことについての見解も併せて伺う。		
	(2) 共通投票所の問題と投票率改善への取組みについて		① 共通投票所の開設場所が「何かのついでに投票してもらおう」という趣旨に沿っていなく、機能が十分に働かなかったと考える。従来の商業施設での開設ができなかったのは新型コロナ感染予防対策ができないからと伺っているが、それならば駐車場の一部を借りて、プレハブの投票所や移動可能な大型バス利用の投票所を開設する等、開設手段は幾らでもあったと思え、やはり事前の知恵出しが足りなかったと言わざるを得ない。人口減が続く中、投票所の数が減ることは市民も受け入れるとしても、今市民から上がっている意見も含め市民の声は重要と考える。今後どのように市民の理解を得ながら投票率の改善に取り組むのか伺う。		

令和４年第６回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	8	質問者	児玉 悦朗	質問所要時間	45 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
1	市民アンケート実施結果について			① 今後のまちづくりに重要と考える施策に医療の充実が挙げられているが、アンケート結果は評価の低いものとなった。市長の公約にもある医療の充実を今後どのように進めていくのか、施策の内容を伺う ② 鹿角市 2030 ゼロ・カーボンシティ宣言を知っているかについて低い認識値になっているが、2030 にゼロ・カーボンシティの達成ができるのか。2030 までの年次毎の達成計画について伺う ③ 町の満足度について上昇した項目があるものの、総じて満足度が低下している。7 次総が順調に推移しているのか伺う。また、第 7 次総合計画を変更、または追加して対策を強化する考えはないか伺う。	
2	教育方針について			① 教育執行方針では、『「情報活用能力とコミュニケーション能力の育成」について、電子黒板とタブレット端末の一層の活用を図り』とあるが、教育長は現状をどのように捉えて進めていこうとするのか伺う。 ② P T A 組織の変革が叫ばれている中、学校教育と保護者の意識の変化があるが、学校行事を縮小して保護者や地域の負担を減らしていくことができるか。また、「教職員のモチベーションと資質の向上」について多忙化防止計画を作成しているが、現状の認識と今後の改善点があれば伺う。	
3	学校統合について			① 小学校でのクラスの適正な人数に対して、是正するため、尾去沢小学校は近いうちに花輪小学校と統合すると考えて良いか。具体的な計画があるのか伺う。 ② 本市での廃校後の校舎について、今後利用する計画がない校舎は速やかに取り壊すべきと考えるが、校舎の管理計画について伺う。 ③ 学校以外で、本市所有の建物で使用されていない施設はあるのか伺う。	

令和４年第６回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	8	質問者	児玉 悦朗	質問所要時間	45 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
4	災害対策について		① 本市が管理する林道や河川の被災状況と、今後の対策について伺う。 ② 豊真木沢川を災害に強い河川にするため、改修できないか伺う。 ③ 冷水川では河川の中に土砂が堆積して取水口を塞いだり、根市川では川底が上がったことで堤防を超えて被害が拡大した箇所があった。河川に堆積している砂利を除去し、以前のような川底に戻せないか伺う。 ④ 上水道が破損して飲料水を供給できず断水になった地区が発生した。断水が長期化した原因と今後の対策を伺う。 ⑤ J R 花輪線が路肩の崩落によって運休しているが、開通に向けての要請活動の状況や開通の見通しを伺う。		
5	J R 花輪線の利用促進について		① J R 花輪線の沿線自治体による利用促進協議会など、本市が中心になって存続に向かって市民を巻き込んだ活動を活発化させるべきではないか。現在の協議会の活動内容や今後の活動展開の方法を伺う。		
6	官製談合事件について		① 前市長に対する刑が確定した。また、再発防止策の市民への説明会も行われた。一連の事件に対する市長の感想を伺う。		